

寄贈図書リスト

ハーシエル天体ウォッチング, ジェームズ・マラニー
著, 角田玉青 訳, A5 判, 250 頁, 2,800 円+税,

地人書館

天文学入門, 中嶋浩一 著, A5 判, 284 頁, 2,500 円+
税, 丸善株式会社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

研究助成

平成 22 年度笹川科学研究助成の募集について

財団法人日本科学協会
平成 22 年度笹川科学研究助成につきましては例年どおりに, 来る 10 月 1 日から 10 月 15 日までの間, 募集することとなりましたので, ご案内させていただきます。

募集要項・申請書はこちらより

<http://www.jss.or.jp/sasagawa/apply/apply.html>

お問い合わせ先: 財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2

日本財団ビル 5F

Tel: 03-6229-5365

Fax: 03-6229-5369

e-mail: ssrg-jss@silver.ocn.ne.jp

URL: <http://www.jss.or.jp>

第 2 回 (平成 21 年度) 宇宙科学奨励賞

財団法人宇宙科学振興会では, 宇宙科学分野で優れた研究業績を上げ, 宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を表彰するために, 平成 20 年度より宇宙科学奨励賞を創設いたしました。ここに平成 21 年度の第 2 回宇宙科学奨励賞候補者を募集いたします。当財団のホームページ (<http://www.spss.or.jp>) をご覧の上, 本年 10 月 9 日までに候補者をご推薦いただきたく, ここにご案内申し上げます。

本奨励賞は宇宙物理学 (地上観測を除く) 分野および宇宙工学分野で独創的な研究を行い, 宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者に与え

られます。候補者は上記分野で優れた業績を上げた 37 歳以下 (当該年度の 4 月 1 日現在) の若手研究者個人といたします。業績の審査は, 推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて, 当財団が設置する選考委員会において行います。

授賞者は毎年宇宙物理学関係 1 名, 宇宙工学関係 1 名といたします (ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合があります)。受賞者には本賞 (表彰状と表彰楯) と副賞 (賞金 20 万円) が贈られます。推薦締切日は **2009 年 10 月 9 日 (金)** 必着です。推薦はすべて他薦といたします (自薦は受け付けません)。推薦に当たっては当財団のホームページ (<http://www.spss.or.jp>) より推薦用書式をダウンロードし, 必要事項を記入のうえ, 必要な添付書類とともに期日までに当財団事務局宛てに e-mail (下記メールアドレス宛) または郵送 (下記住所宛) 提出願います。メールのタイトルまたは封書の表に「宇宙科学奨励賞推薦書在中」と明記して下さい。

お問い合わせ先および推薦書送付先:

〒229-8510 神奈川県相模原市吉野台 3-1-1

財団法人宇宙科学振興会 事務局

Tel: 042-751-1126 Fax: 042-751-2165

e-mail: admin@spss.or.jp

山田科学振興財団 2010 年度研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会宛に, 下記内容の 2010 年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので 2010 年 2 月 26 日 (金) 必着までに日本天文学会宛に提出して下さい。

1. 援助の対象: 自然科学の基礎的研究 (実用指向研究は対象外)

- 1) 萌芽的・独創的研究
- 2) 新規研究グループで実施される研究

- 3) 学際性, 国際性の観点からみて優れた研究
 4) 国際協力研究
2. 援助の金額: 1件当たり 100~500万円の援助を
 15件程度。(援助金の使用期間は贈呈した年度お
 よびその次の年度の計2年間とします。)
3. 推薦件数: 1学会ごとに2件以内。
- ★2010年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙はすべ
 て下記ホームページ上に添付されております。
 山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

研究会・集案案内

NAOJ シンポジウム募集

国立天文台では国立天文台研究集会(国際および国
 内)を公募しておりますが, このうち国立天文台の特
 色ある共同利用成果を広く海外に発信する国際研究集
 会(以下 NAOJ シンポジウム)について, 2010年度に
 実施する分を下記のとおり公募しております。これは
 大規模な国際研究集会の準備期間を確保するために別
 に募集しているもので, NAOJ シンポジウム以外の国
 立天文台研究集会は, 共同開発研究, 共同研究ととも
 に本年 11 月頃公募する予定です。

記

国際研究集会: 募集件数 1 件 総額 500 万円以内
 申込締切日: 2009 年 10 月 15 日(木)
 ヒアリング: 2009 年 10 月 27 日(火) 予定
 研究集会名: 「第〇回 NAOJ シンポジウム」(および
 The 〇th NAOJ Symposium) を冠するこ
 と
 申請書ダウンロード:

<http://www.nao.ac.jp/pio/kouryuu/index.html>

問い合わせ・提出先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢
 2-21-1 国立天文台研究支援係
 e-mail: kenkyu@nao.ac.jp

三鷹・星と宇宙の日(旧 三鷹地区特別公開) 開催について(ご案内)

国立天文台, 東京大学天文学教育研究センター, 総
 合研究大学院大学が毎年秋に共同で開催してきた「三
 鷹地区特別公開」が, 今年からは「三鷹・星と宇宙の
 日」という名称で, さらに内容を充実させて実施され
 ます。

メインテーマ: 「天文学と望遠鏡の 400 年」

日 程: 2009 年 10 月 24 日(土) 午前 10 時より午後 7

- 時まで(入場は午後 6 時まで)
- 場 所: 東京都三鷹市大沢 2-21-1
 国立天文台三鷹
 東京大学天文学教育研究センター
- 内 容: ○主な観測・実験施設の公開, 研究紹介・展
 示, 天文相談コーナー, スタンプラリー,
 講演会, 天体観望会(晴天時のみ) など
 ○国立天文台講演会
 開催時間: 13:15-15:30 (途中休憩あり)
 会 場: 解析研究棟 大セミナー室
1. すばる望遠鏡から 30 m 望遠鏡 TMT
 へーボケを直して最初の銀河を見る一
 家 正則(国立天文台, 総合研究大学
 院大学 教授)
 2. 電波望遠鏡の進化と電波天文学の発展
 石黒正人(国立天文台 名誉教授)
- 東京大学天文学教育センター講演会
 開催時間: 12:00-12:40
 会場: 東京大学天文学教育研究センター
 宇宙のすがた
 土居 守(東京大学天文学教育研究セ
 ンター 教授)
- 主 催: 自然科学研究機構 国立天文台
 東京大学大学院理学系研究科附属 天文学教
 育研究センター
 総合研究大学院大学 物理科学研究科 天文科
 学専攻
- 後 援: 社団法人 日本天文学会
 財団法人 天文学振興財団
 世界天文年 2009 日本委員会
- 協 力: 東京大学消費生活協同組合天文台支所
 大沢地区住民協議会
 三鷹市 星と森と絵本の家
- 交 通: • JR 中央線 武蔵境駅南口より
 小田急バス 狛江駅北口行き(境 91)
 • 京王線 調布駅北口より
 小田急バス 武蔵境駅南口行き(境 91) また
 は 三鷹駅南口行き(鷹 51)
 京王バス 武蔵小金井駅北口行き(武 91)
 いずれも「天文台前」バス停下車(約 15 分)
 ※駐車場はございませんので, 公共交通機関
 または自転車をご利用下さい。
- その他: 入場無料
- お問い合わせ先: 自然科学研究機構 国立天文台
 電話: 0422-34-3600 (代表)
 ホームページ <http://www.nao.ac.jp/>

第7回アジアプラズマ核融合学会 (APFA2009) 及びアジア太平洋プラズマ理論会議 (APPTC 2009)

第7回アジアプラズマ核融合学会 (APFA2009: Asia Plasma and Fusion Association in 2009) 及びアジア太平洋プラズマ理論会議 (APPTC2009: Asia Pacific Plasma Theory Conference in 2009) を、平成21年10月27日から30日の日程で青森市にて、プラズマ・核融合学会と日本原子力研究開発機構の主催で開催する運びとなりました。

アジアプラズマ核融合学会 (APFA) は、日本に關係する国内学会及び研究機関が協力して1998年に設立され、その後2003年にインドが加わり、4カ国の研究機関が主体となって運営しています。これまで、北京(1998年)、ソウル(1999年)、土岐(2001年)、杭州(2003年)、濟州島(2005年)、アームダバード(2007年)で開催されています。本会議の目的は、プラズマや核融合の科学や工学の分野で働く、主としてアジア地区の研究者や技術者の知識や情報、経験を交換し、互いの絆を深めるとともに、若手研究者や技術者の教育を促進し、プラズマ科学や核融合炉工学の発展に貢献することです。また、今回、同時開催されるアジア太平洋プラズマ理論会議 (APPTC) は、アジア太平洋地域におけるプラズマ・核融合理論研究の交流・連携を目的としてこれまで韓国、中国、日本、オーストラリアで開催されてきており、プラズマ理論及び数値シミュレーションに関連するテーマを取り扱う予定です。会議の開催される10月下旬は、八甲田山や十和田湖、奥入瀬の紅葉が美しい季節です。また、日欧間の幅広いアプローチ活動のもとで青森県六ヶ所村で整備が進められている国際核融合エネルギー研究センター

や周辺施設の見学会も企画しています。

本会議への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

会期: 2009年10月27日(火)~30日(金)

会場: 「アウガ」ビル5階青森市男女共同参画プラザ

住所: 青森県青森市新町1-3-7

「アウガ」ホームページ: <http://www.auga.co.jp/com/index.php>

宿泊及び交通、観光情報:

会場の青森駅前付近には多くのホテル/ビジネスホテルがあります。

宿泊の申し込みはウェブサイト (<http://apfa2009.jp>) でも受け付ける予定です。

会場は青森駅前にあり、JRの場合には青森駅から徒歩1分です。青森空港からはJR青森駅行きのバスをご利用下さい。観光情報につきましては、ウェブサイトからの青森県観光情報へのリンクをご覧ください。

事務局: 日本原子力研究開発機構青森研究開発センター

Tel: 0175-71-6621 Fax: 0175-71-6602

e-mail: apfa2009@jaea.go.jp

最新の情報はウェブサイトにてご確認ください。

<http://apfa2009.jp>

訂正

2009年9月(第102巻第9号)天球儀記事

「マルチモーダル天文教科書の作成」p.551の英文アブストラクトの著者名の3番目に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

Jun Takahashi → Hideji Nagaoka

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード vol98 の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。

児玉忠恭(編集長), 浅井 歩, 柏川伸成, 衣笠健三, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 三好 真, 山崎 了, 吉田直紀

平成21年9月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2009年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)